

## 第26回 もも脳ネット 理事会（コアメンバー会議） 議事録

日時：平成28年11月15日（火）19：00～20：00

場所：川崎医科大学附属川崎病院 北館2階ホール

出席者：岡山医療センター（奈良井医師 高塚MSW）

金川病院（森重MSW）

岡山赤十字病院（岩永医師 西本医師 高木医師 橋MSW 中野MSW）

岡山ろうさい病院（片山医師 内田MSW）

岡山市民病院（出口医師 梅田Ns）

岡山中央奉還町病院（小林医師 津田PT 古田MSW）

岡山光南病院（宮森医師 土手医師 松井Ns 知野見PT 西村MSW）

岡山リハビリテーション病院（森田医師 盛谷MSW 池田MSW）

津山第一病院（万代PT 横山事務）

こうなんクリニック（西崎医師）

岡山協立病院（中村PT）

岡山旭東病院（片岡PT）

川崎医科大学附属川崎病院（井上医師 中野Ns 富田MSW 潮MSW 筒井MSW 橋本MSW）

岡山市歯科医師会（角谷医師）

岡山県介護支援専門員協会（丸田CM）

備前保健所保健課地域保健班（二宮所長 河合保健師）

計16施設37名（敬省略・順不同）

### 議 事

#### 1. 研修会の企画・運営について

▶ 川崎医科大学附属川崎病院（井上医師）より下記報告があった。

- ・ 「在宅に向けた退院支援の取り組み」をテーマとして研修会を開催予定である。今年度は平成29年2月19日（日）と平成29年3月18日（土）におかやま未来ホール（岡山イオンモール）にて予定で準備している。スケジュールは開場9時30分、開演10時で考えている。開会挨拶を二宮所長（備前保健所保健課地域保健班）、阿部教授（岡山大学病院）へ依頼していく予定である。

会の内容は、2部構成で考えており、1部を各機関が行っている「在宅に向けての退院支援の取り組み」の発表を行っていただく。在宅医や介護支援専門員、訪問看護師の方々にも在宅での取り組みを発表して頂く予定である。発表は急性期、回復期、在宅と分けており、第1回目は岡山市北部を中心とした地域、第2回目岡山市南部を中心とした地域となっている。地域で分けた理由としては、各地域によって退院支援の取り組みが異なっているためである。発表時間は1人6分を予定しており、座長については急性期1名、回復期1名、在宅1名で考えており、依頼はもも脳ネット理事に入っている機関へ行っていく予定である。

2部ではワールドカフェを行う予定であり、各機関の在宅に向けての退院支援の取り組みについて意見交換の場としていく。

- ・ 研修会のテーマは「地域とともに生活を支えるルール作り」と考えている。

- 理事会にて下記意見があり、事務局にて再度検討することとなる。
  - ・ 東備地区は独自の退院支援の取り組みがあるため、岡山市内のみではなく東備地区の機関にも講演依頼をしてもらいたい。
  - ・ 案内チラシに参加職種に制限はないと記載してもらいたい。
  - ・ 県南東部を中心としているが、県北の医療機関にも講演の依頼をしてもらいたい。
  - ・ 回復期リハビリテーション病院だけでなく、地域包括ケア病床を持つ医療機関にも講演依頼を行ってもらいたい。

## 2. 摂食機能療法起算日について

- 岡山赤十字病院（西本医師）より下記報告があった。
  - ・ 地域連携パスの摂食機能療法起算日を入力する欄について、岡山赤十字病院では言語聴覚士が言語のリハビリの一環として嚥下リハビリを行っており、摂食嚥下療法としてはコストを算定していないため起算日の入力をしていない現状である。回復期病院より起算日について問い合わせがあるが、回復期病院からのご意見をいただきたい。
- 岡山リハビリテーション病院（森田医師）より下記意見があった。
  - ・ 急性期病院が摂食機能療法を算定していない場合は、回復期病院へ転院後から起算するため、180日コストを算定できることになっている。急性期病院が算定していた場合は、急性期病院の起算日からの計算となる。そのため起算日について必ず記入してもらいたい。

## 3. もも脳ネット通信について

- 川崎医科大学附属川崎病院（井上医師）より下記報告があった。
  - ・ 大森医師（金川病院）より進捗状況についての報告があり、もも脳ネット通信については下記3点を考えているとのことであった。
    - ① 編集の視点  
患者サイド目線、患者にとって有益な情報提供、患者自身の体験を共有
    - ② 編集委員の構成（約7名程度のコアメンバー+記事内容に応じた臨時メンバーで構成）  
医療者（医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、ケアマネジャー）、患者自身および家族、マスコミ関係者もしくは出版関係者で構成予定である。
    - ③ 編集構成  
内容は患者体験談、公的サービスの紹介、脳卒中最新情報、施設紹介等であり、A4版4ページもしくは8ページ構成、白黒印刷で考えている。  
発行回数は年3回もしくは4回（5月、9月、1月）で考えており、発行部数は毎回1000部の予定である。配布方法はもも脳ネット所属施設にて適宜配布、もも脳ネットホームページへアップして予定である。

## 4. その他

### 【地域連携パス誤作動等について】

- 岡山労災病院（片山医師）より下記報告があった。
  - ・ 改定版地域連携パスが平成28年9月30日から運用開始となっているが、運用開始以降様々な不具合

が生じている。現在報告を受けている内容としては、①日常生活機能評価の項目内の「危険行動」が本来は1点であるが、2点で計算される②入力をしていくと動作が止まる③フリー欄に入力すると連携パスが終了してしまう以上3点である。現在、両備システムズに修正を依頼しており、岡山労災病院にて試用し、問題がなければ再度もも脳ネットホームページに掲載していく予定である。

- 岡山市立市民病院（梅田看護師）より下記意見があった。
  - ・ 大腿骨頸部骨折の連携パスのリハビリスタッフが記載する所見内に、改定前の連携パスでは関節可動域や徒手筋力テスト（MMT）を記載する欄があったが、改定版では空欄になっている。
  - ・ 改定版では空欄になっている理由について、ワーキンググループに確認を行い、次回の運用総会にて報告することとなる。

#### 【今後の会議日程】

- ・ 第44回 運用総会

日時：平成28年12月21日（水）19：00

場所：岡山医療センター 8階ホール

幹事：岡山市立市民病院

- ・ 第27回 理事会

日時：未定（平成28年2月開催予定）

場所：川崎医科大学総合医療センター

（書記 川崎医科大学総合医療センター：潮）